

支出負担行為担当官
防衛省大臣官房会計課
会計管理官 廣瀬 和希
(公 印 省 略)

公 告

下記により入札を実施するので、入札心得及び契約条項等を了承の上、参加されたい。

記

1. 入札に付する事項

調達番号	件名	内容	履行場所	履行期間
R8-S-0585	令和10年度職員採用パンフレット (一般職、専門職)	仕様書のとおり	仕様書のとおり	自: 契約締結日 至: 令和9年3月12日

2. 入札方式 一般競争入札（総合評価落札方式、電子調達システム（政府電子調達（GEPS））対象案件）
3. 入札日時 令和8年10月23日（金）（10：30）
4. 入札場所 防衛省市ヶ谷庁舎E2棟3階入札室
5. 参加資格 (1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
(2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
(3) 令和07・08・09年度防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」のD等級以上に格付けされ、関東・甲信越地域の競争参加資格を有するもの。
(4) 防衛省から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
(5) 前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行うおうとする者でないこと。
6. 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10％に相当する額を加算した額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税等に係る課税事業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
7. 入札保証金及び契約保証金 免 除
8. 入札の無効 5の参加資格のない者のした入札または入札に関する条件に反した入札は無効とする。
9. 契約書作成の要否 要
10. 適用する契約条項 役務等契約条項、談合等の不正行為に関する特約条項、暴力団排除に関する特約条項、
11. その他
(1) 細部入札要領については別途配布する「一般競争入札の案内について」（以下、入札案内）のとおり。
(2) 入札案内受領の際、資格審査結果通知書（全省庁統一資格）の写しを提示すること。
(3) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めないものとする。ただし、真にやむを得ない事由を防衛省が認めた場合には、この限りではない。
(4) この一般競争（総合評価落札方式）に参加を希望するものは、応札資料作成要領に定める提出物を 令和8年 10月 2日（金） 17：00 までに提出しなければならない。
(5) 本案件は、府省共通の「電子調達システム」（<https://www.p-portal.go.jp>）を利用した応札及び入札手続により実施するものとする。ただし、電子調達システムによりがたい者は、「紙」による入札書等の提出も可とするが、郵便入札については、令和8年 10月 21日（水）までに、下記担当者必着分を有効とする。
(6) 落札者が、10に掲げる契約条項のほか、中小企業信用保険法第2条第1項に規定する中小

企業者である場合は、「債権譲渡制限特約の部分的解除のための特約条項」を別途適用する。

(7) 入札案内の交付場所、契約条項を示す場所及び問合せ先

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1 (庁舎A棟10階) ※顔写真付の身分証明書を
持参すること。

受付時間 9:30～18:15 (12:00～13:00までの間を除く)

また、入札案内のメール配布を希望する者は、以下のとおりメールを送信すること。

メールアドレス：naikyoku_chotatsu_mailmagazine@ib.dss.mod.go.jp

メール件名：「件名：〇〇〇」 入札案内送信依頼

添付ファイル：資格審査結果通知書(全省庁統一資格)の写し

防衛省大臣官房会計課契約係 新保 電話 03-3268-3111 内線20822

仕様書

物 品 番 号		作 成 年 月 日	令和 8 年 8 月 5 日	要求元	大臣官房秘書課
件 名	令和 1 0 年度職員採用パンフレット（一般職, 専門職）				

1 総 則

この仕様書は, 防衛省大臣官房秘書課（以下「官側」という。）より依頼を受けた受注者が, 令和 1 0 年度職員採用パンフレット（一般職, 専門職）を作成し、パンフレット等を封入・封緘・発送する業務について規定する。

2 適用範囲

この仕様書は, 令和 1 0 年度防衛省職員採用パンフレット（一般職, 専門職）の作成及びパンフレット等の封入・封緘・発送に係る業務に適用する。

3 概 要

主に高校, 専門学校, 大学及び大学院卒業見込みの学生（以下「学生等」という。）を対象とし, 防衛省の業務に興味を抱き, 理解を深め, 防衛省に対する志望度を高めることを目的とする。

4 要求事項

(1) 実施計画書の作成

受注者は, 契約後速やかに本契約の実施スケジュール及び実施体制を記載し実施計画書を 1 部作成し, 官側の了解を得た上で, 官側へ提出するものとする。

(2) パンフレット

ア 基本コンセプト

学生等が就職活動の際に必要とする, 業務の内容に関する情報, 職員の体験談等を掲載する。また一般職と専門職の魅力を一冊にまとめることで, 学生等がそれぞれに興味を抱き, 双方への理解・関心を深めてもらうと共に, 学生等が防衛省職員の勤務内容についてイメージできることを目的とする。

イ 内 容

(ア) 印刷数量

4 4 頁× 2 8, 0 0 0 部（表紙・裏表紙含む。）

(イ) 仕上寸法

A 列 4 判 (2 9 7 m m × 2 1 0 m m), 縦長

(ウ) 製 版

平板

(エ) 印 刷

4 色刷り, 両面 (本文, 表紙共)

(オ) 用 紙

a 表紙及び裏表紙

マットコート紙, P P 加工, 又はニス引き加工, 菊判 9 3 . 5 kg 以上で官側の要望をもとに複数提案し、官側との調整により決定する。

b 本 文

マットコート紙, 菊判 6 2 . 5 kg 以上で官側の要望をもとに複数提案し、官側との調整により決定する。

c その他

オフセット印刷については, 芳香族成分が 1 % 以下の溶剤（動植物油系などの溶剤を含む）のみを用いる印刷用インキが使用されていること。

(カ) 製 本

中とじ

(キ) 校 正

官側原稿校正, カラー印刷 4 回（原稿 3 回, 最終 1 回）, 色校正 1 回

(ク) 梱 包

a 運送会社による輸送に耐えうる梱包（ダンボール）とする。

b 梱包はパンフレット 5 0 部を 1 梱包とする。

c 1 梱包当たり 2 0 kg 未満とすること。

d 段ボール上面, 側面（四面）には「（令和 1 0 年度）防衛省採用パンフレット（一般職, 専門職）」またはパンフレットの表紙を貼り付け, 箱を開封しなくても内容物が容易に判別できるようにすること。

(ケ) その他

a 掲載写真の撮影

掲載写真は, 官側が提供する写真を除き受注者がカメラマンを準備し, 撮影を行うものとする。また, 撮影場所は防衛省本省（東京都新宿区市谷本村町 5 - 1）を基本として 4 日間実施するものとし, 細部は官側が指定する。

b イラスト, 図表等の作成

官側が指定する頁に関して, 受注者で作成するものとする。

c パンフレット全体のデザイン及びレイアウト

提案書の内容を契約後に官側と話し合い向上を図るものとする。一般職と専門職の各項が, どちらのものか一目で見分けがつくように各セクションごとに段差をつけた現行の形を基準とし、各セクションページが一目で分かる形で作成すること。

(3) 防衛省 H P 掲載用電子書籍版及び P D F 版

ア 基本コンセプト

本項(2)で作成したパンフレット（紙媒体）と同内容の情報をパソコンやスマートフォンを含むタブレット端末等の電子媒体で容易かつ簡便に閲覧できる電子書籍仕様と P D F 仕様を作成するものとする。

イ ファイル形式

電子書籍版では多くの電子媒体で閲覧が可能な形式とし, 防衛省 H P に掲載が可能な形式とするが, 細部の形式については官側と調整すること。電子書籍版と P D F 版では、記載される H P や S N S の 2 次元コードにハイパーリンクを設定することとする。

(4) 納品

ア 数量

学校等へ発送する以外のパンフレットを官側の指示する場所に納品する。

イ 納入先

防衛省市ヶ谷庁舎 E 2 棟 4 階秘書課作業室

(〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1)

ウ 納品日

令和9年3月5日(金)

(5) 発送

ア 資料の種類・数量

(ア) 学校等への発送

a 案内状(A4)(1枚)(すべての宛先に送付)

b パンフレット(A4:44頁)(1部)(すべての宛先に送付)

c その他、官側が指定するもの(修正文等、要する場合のみ)

d 別紙3(メールにて別送)の宛先に、a、b、cを各学校1校につき1部ずつ送付することとする。

(イ) 防衛局への発送

a パンフレット

b その他、官側が指定するもの(修正文等、要する場合のみ)

c 別紙4のとおり送付することとする。

イ パンフレット以外の資料

(ア) 案内状、その他、官側が指定する資料及び封入用の封筒は、官側が用意するものとする。

(イ) 官側の指示する場所(防衛省市ヶ谷庁舎内)においてパンフレット以外の資料を受領すること。

ウ 発送名簿

(ア) 学校等への発送について、官側より事前に電子メールで提供された別紙3を基に、宛名を作成するものとする。なお、宛名作成方法については任意の方法とする。

(イ) 別紙3の内容に変更が生じた場合、官側の指示に基づきこれを訂正する。

エ 発送日

学校等及び防衛局への発送は3月5日(金)から3月12日(金)までの官側が指定する日に必着となるよう発送を終えることとする。

オ その他

(ア) 要求事項の指示に基づき、各送付先に対して封筒等に封入及び封緘し、速やかにメール便等で発送すること。

なお、封入等の際、内容物は折り曲げないこととする。

また、封筒等は発送先の宛先・宛名及び発送元の住所・差出人が判別できるものを用いることとする。

(イ) 発送記録等の送付したことを証明する書類を提出する。

(ウ) 学校等へ発送する以外のパンフレットについては、官側の指示する場所(防衛省市ヶ谷庁舎 E 2 棟 4 階秘書課作業室)に納品する。

6 納期

令和9年3月12日（金）

7 検査

支出負担行為担当官補助者が行う。

8 その他

- (1) 本構成は別紙1及び別紙2を参考とすること。
- (2) 本仕様書にかかる印刷物の構成の細部については、官側と受注者との調整で定めるものとし、受注者側業務責任者も出席する打合せを少なくとも4回（契約直後、受注者側による基本構想検討後、官側コメント後の基本構想再提出時、第1校提出後）行い、受注者は打合せ後速やかに打合せ概要を作成し提出するものとする。なお、契約直後及び第1校提出後の打合せは防衛省における対面での打合せによるものとする。
- (3) パンフレットの表紙（P1）、中表紙（P4（一般職）、P29（専門職））は、官側で別途作成する募集用ポスターに活用できるデザインとすること。
- (4) 掲載写真について、第三者が著作権等を有する写真、音楽その他各社が所有する素材を使用する場合や、報道資料等を使用した場合は、その使用に係る一切の費用は受注者の負担とする。
- (5) 本仕様書にかかる印刷物の料金には、企画料、デザイン料、その他一切の料金を含めるものとする。
- (6) 当該役務の著作権は官側に帰属するものとする。ただし、第三者が著作権等を有する写真その他各社が所有する素材を使用する場合や、報道資料等を使用した場合は、それに係る著作権は保護される。
- (7) 官側が提供した資料等は、当該役務終了後、直ちに官側に返却すること。
- (8) 仕上がり状態については、印刷ミス、製本のズレ、用紙の不ぞろい、汚れ等不備がないものとする。
- (9) 配送については、環境に配慮されたものとし、ディーゼル車を使用する場合は、東京都の都民と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号）に規定する、ディーゼル車規制に適合する自動車を使用し、又は使用させること。又、使用させる自動車の自動車検査証（車検証）の提示を求めた場合、速やかに提示すること。
- (10) 包装については、廃棄時において環境への負荷軽減に配慮されたものとする。
- (11) 受注者は、資料等の取扱いにおいて細心の注意をもって行うものとし、契約の履行上、知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。契約の履行終了後においても同様とする。なお、提案書において、会社内における具体的な情報保全への体制や取り組みを記載すること。また、受注者側の広報等に使用する場合でも事前に発注者の承諾を得るものとする。
- (12) その他、疑義が生じた場合は支出負担行為担当官等と協議するものとする。
- (13) 本契約の実施にあたっては、仕様書その他、提案書に準拠すること。
- (14) 本調達物品等が「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月

3 日閣議決定)」の基準を満たすものであること。ただし、基本方針の改定があった場合には、これに従うものとする。

(15) 受注者は、本仕様書にかかる役務の工程を管理し、定められた納期までに印刷物を納入しなくてはならない。

(16) 別紙 3 の宛先に届かなかった場合、以下の住所に返送されるようにすること。

返送先：防衛省 大臣官房秘書課 採用企画室(25003)

(〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1)

一般職・専門職 パンフレット構成

枚数	項	項目	内容
1	1	表紙	「防衛省」「Ministry of Defense」「国家公務員採用一般職試験」「防衛省専門職員採用試験」を入れるものとし、表紙にキャッチフレーズを記載すること。（前述を満たしていれば、文字のサイズ等は問わない）明るく学生等を惹き付け、好感の持てるデザインとする。（写真は受注者撮影）
2	2	防衛事務次官コメント・目次	原稿の内容は官側で検討。（イメージ写真等は受注者提供）
	3	リード文書・世界情勢、防衛省の取り組みについて	キャッチコピーと防衛省の役割等を簡潔にまとめたメッセージ（リード文章）を掲載。（受注者執筆、キャッチコピーのみ官側執筆の可能性あり） 原稿の内容は官側で検討。（イメージ写真等は受注者提供）
1	4	中表紙（一般職）、一般職職員とは	・一般職職員（事務官、技官）の写真等を掲載し、一般職の中表紙となるようなデザインとすること。（受注者撮影、または官側提供） ・防衛省一般職職職についての紹介文を掲載（官側執筆）
1	5	組織図、採用試験に関して	組織図、試験スケジュール、採用試験区分等を掲載。組織図デザインは受注者が行う。
16	6	各機関の役割と特色、業務の紹介 機関に所属する職員のメッセージ	本省内部部局
	7		本省所在機関
	8		防衛大学校
	9		防衛医科大学校
	10		統合幕僚監部
	11		情報本部
	12		陸上自衛隊
	13		海上自衛隊
	14		航空自衛隊
	15		地方防衛局
	16		防衛装備庁
	17		<イメージ> ①機関の紹介 ・各機関の役割・特色・採用後の業務内容の説明文章（官側執筆） ・機関の業務等の魅力を一言で表現したキャッチフレーズ（官側執筆） ・機関を表す写真を掲載（受注者撮影、または官側提供）
	18		
	19		
	20		
	21		②機関に所属する職員のメッセージ（官側執筆） ・やりがいや志望動機、一日の紹介等について記載。 ・機関ごとに1～2名掲載 ・写真（本人及び職場風景）を掲載 （市ヶ谷地区の職員は受注者撮影、その他の職員は官側提供）
	22		
	23		
	24		
4	25	技術職紹介	採用予定機関ごとに技術に関する情報を写真付きで紹介。業務内容、アピールポイント等を掲載。（受注者撮影、または官側提供。内容は官側執筆、キャッチコピーのみ受注者執筆の可能性あり。）
	26	キャリアパス、研修制度紹介	・係員級、係長級、課長補佐級、管理職とそれぞれの役職に就く職員（計4名）から心構え等のメッセージと写真を掲載。（メッセージは官側執筆。写真は市ヶ谷地区の職員は受注者撮影、その他の職員は官側提供。） ・研修制度の紹介（内容は官側執筆、デザインは受注者）
1	27	採用に関するQ & A、採用予定者数	原稿の内容は官側で検討。
1	28	中表紙（専門職）、防衛省専門職とは	・防衛省専門職職職員の写真等を掲載し、専門職の中表紙となるようなデザインとすること。（受注者撮影、または官側提供） ・防衛省専門職職職職についての紹介文を掲載（官側執筆）
2	29	組織図等、採用予定者数等	内容は官側で検討。組織図デザインは受注者が行う。
	30	試験概要、採用に関するQ & A	原稿の内容は官側で検討。
7	31	各機関の役割と特色、業務の紹介 機関に所属する職員のメッセージ	本省内部部局
	32		陸上自衛隊
	33		海上自衛隊
	34		航空自衛隊
	35		地方防衛局
	36		情報本部
	37		防衛装備庁
1	38	キャリアパス	・係員級、係長級、課長補佐級、管理職とそれぞれの役職に就く職員（計4名）から心構え等のメッセージと写真を掲載。（メッセージは官側執筆。写真は市ヶ谷地区の職員は受注者撮影、その他の職員は官側提供。）
2	39	ワークライフバランス（制度紹介、職員紹介）	・育児休業等ワークライフバランスの推進に係る制度の紹介（場合によって、イメージ写真、イラスト等受注者提供） ・制度を利用した職員の写真及びメッセージ、キャリアパスの紹介（市ヶ谷地区の職員は受注者撮影、その他の職員は官側提供。メッセージ官側執筆。）
	40	転勤について（ブロック型人事管理）等	原稿の内容は官側で検討。ブロック管理の日本地図掲載。（地図等デザインについては、受注者作成）
2	41	福利厚生、勤務条件等	福利厚生、勤務条件等について掲載。内容は官側が検討。
1	42	裏表紙	「防衛省」ロゴや住所、HP、SNSの2次元コードを掲載。

※本構成案はあくまで官側から提示する一案であり、業者の企画を制限するものではないことに留意すること。
また、入札時に受注者から提案した企画が決定案とはならず、デザインや細部については後日官側と調整するものとする。

(案)

別紙 2



表 紙

防衛省

(キャッチコピー)

掲載者：男性1名、女性1名

提案書提出時に

☆があるページを可能な限りご作成ください。

その他ページや、新しい提案がある場合も可能であればご提示ください。

- ・表紙 (P 1)
- ・リード文章、防衛省の取り組み (P 3)
- ・一般職中表紙 (P 4)
- ・一般職機関紹介 (P 6 - 21)
- ・キャリアパス (P 26 - 27)
- ・防衛省専門職中表紙 (P 29)
- ・防衛省専門職機関紹介 (P 32 - 38)
- ・ワークライフバランス (P 40 - P 41)
- ・裏表紙 (P 44)

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験、高卒程度試験)
防衛省専門職採用試験
採用パンフレット

事務次官コメント、写真・目次等



Dの扉を開けよう

激動の時代に、私たち防衛省が果たすべき使命は何か？

その大きな問いと向き合うために、

この冊子では、Defense（防衛）のイニシャルである

リード文章・世界情勢・防衛省 の取り組みについて

わが国を取り巻く安全保障環境

国際社会は戦後最大の試練のときを迎え、新たな危機の時代に入っています。グローバルなパワーバランスが大きく変化し、国家間の競争が顕在化し、特に米中の国家間競争が今後一層激しさを増す可能性もあります。また、グローバルな安全保障環境と課題は、わが国が位置するインド太平洋地域で特に際立っており、将来、さらに深刻さを増す可能性があります。

ロシアによる侵略とウクライナによる防衛

ロシアによるウクライナへの侵略は、ウクライナの主権と領土一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法を根本的に違反するものであり、欧州のみならずアジアを含む国際秩序の根幹を揺るがす暴挙です。また、NATO加盟国である米国の同盟国であり、欧州とはユーラシア大陸を挟んで対峙するわが国としても、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障は不可分であるとの認識のもと、今後の欧州情勢の変化には注視していく必要があります。

米国

2024年11月に行われた米国大統領選の結果、トランプ前大統領が第47代大統領として当選し、2025年1月に第2期トランプ政権が成立しました。トランプ大統領は、就任以前から、ウクライナ情勢、中東情勢、また台湾情勢などの安全保障分野について発言しており、第2期政権成立以降、米大統領及び戦争責任などは歴史的に流動しています。米国の安全保障分野における動向は、わが国の所在するインド太平洋地域の安全保障環境に大きく影響するものであり、今後の動向が引き続き注視されます。

中国

中国の対外的な姿勢や軍事動向などは、わが国と国際社会の深刻な懸念事項であるとともに、これまでにない最大の戦略的な課題であり、わが国の総合的な国力と同盟国・有志国などとの協力・連携により対応すべきものです。

台湾情勢

台湾について、中国は、台湾は中国の一部であり、台湾問題は内政問題である旨、台湾に対する武力行使を放棄していない旨をたびたび表明しています。中国は、台湾周辺での軍事活動さらには台独化しています。

北朝鮮

北朝鮮の軍事動向は、わが国の安全保障にとって従来よりも一層重大かつ差し迫った脅威となっており、地域と国際社会の平和と安全を著しく脅かすものです。大量破壊兵器などの不拡散の観点からも、国際社会全体にとって深刻な課題です。

ロシア

ロシア軍は、極東方面にも最新の装備を配備する傾向にあるなど、わが国周辺における深刻な軍事動向を継続しており、わが国を含むインド太平洋地域におけるロシアの軍事動向は、中国との戦略的な連携と相まって安全保障上の強い懸念です。

わが国の安全保障・防衛政策

参考イメージ

わが国政府の最も重大な責務は、国民の命と国土・領土・領海を脅かすものから守り、わが国を含む国際社会は、深刻な危機に直面しており、厳しい現実と正面から向き合って、相手の能力と新しい戦い方に適した防衛力の一層の強化が必要です。

■ 防衛目標

力による一方的な現状変更を許容しない安全保障環境を創出する

力による一方的な現状変更やその試みを同盟国・有志国などと協力・連携して抑止・対処し、早期に事態を収拾する

万が一、わが国への侵襲が生起する場合、わが国が主たる責任をもって対処し、同盟国などの支援を受けつつ、これを抑止・排除する

防衛目標を実現するためのアプローチ

わが国自身の防衛体制の強化

- わが国に対する侵襲への対応
- わが国の防衛力の一層の強化
- 国全体の防衛体制の強化
- わが国自身による防衛体制を強化するための訓練・演習など

日米同盟による共同抑止・対処

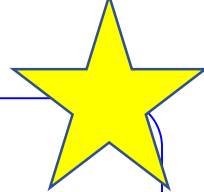
- 日米共同の抑止力・対処力の強化
- 同盟関係の強化
- 共同対処体制の強化
- 在日米軍の駐留に関する取組
- 日米共同訓練・演習など

同盟国などとの連携

- 多角的・多層的な安全保障協力の戦略的な推進
- 国際平和協力活動への取組
- 軍需管理・軍需や不拡散への取組
- 同盟国との訓練・演習など



詳細は防衛白書をご覧ください



防衛省一般職 採用案内

【中表紙】一般職

掲載者：男性1名、女性1名

防衛省一般職職員とは

防衛省 一般職とは

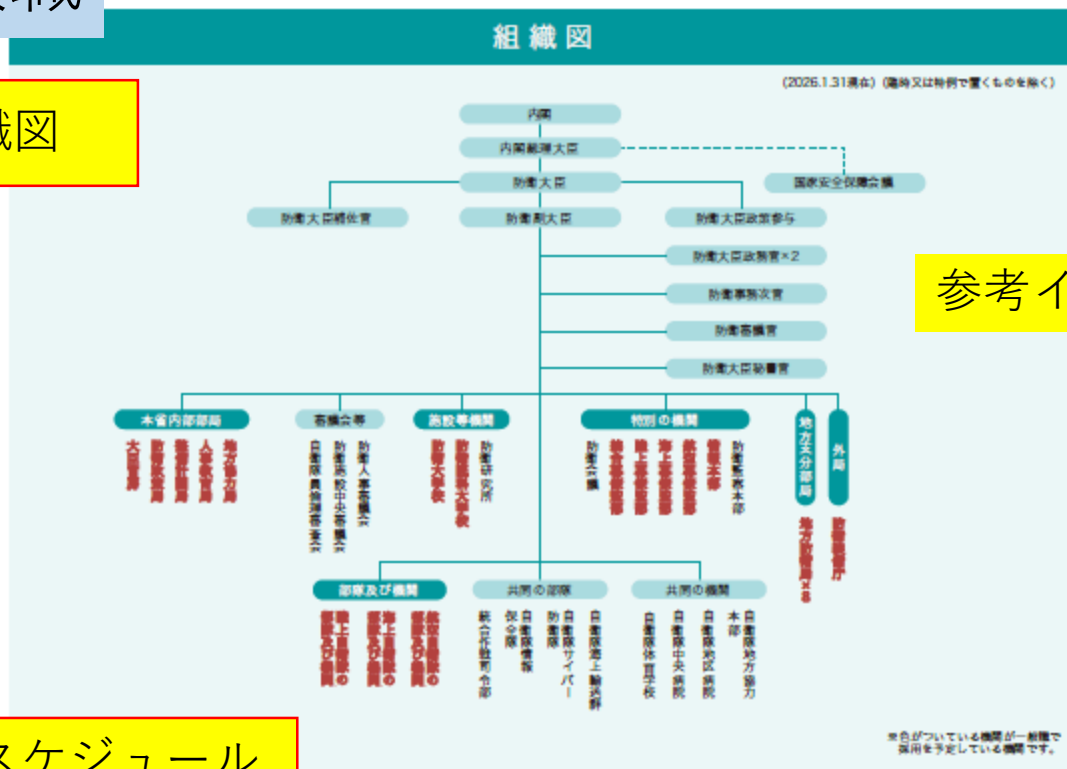
あす
未来のために挑み続ける

防衛省では、行政・事務職の「事務官」、技術職の「技官」など2万人を超える職員が、全国各地において国防の一翼を担う様々な業務を担っています。政策の企画立案、法律や予算の策定のほか、災害派遣や国際平和協力活動などで使用する資材や物品の調達、また装備品の研究開発など、各採用区分に応じた多種多様な職務が用意されており、皆さんの能力を存分に発揮できる環境が防衛省にはあります。わが国の未来のため、一緒に様々な課題に挑戦してくれる仲間をお待ちしています。

一般職試験は、防衛省専門職員採用試験と併展可能です。防衛省専門職についての紹介はP31をご覧ください。

一般職

組織図



参考イメージ

試験スケジュール

2026年度 採用試験スケジュール



※詳細な試験や官庁訪問の日時等については、人事院HPをご確認ください。

採用試験の区分

各試験における採用区分

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

■ 行政 ■ デジタル・電気・電子 ■ 機械 ■ 土木 ■ 建築 ■ 物理 ■ 化学 ■ 農学 ■ 農業農村工学 ■ 林学 ■ 教養

国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）

■ 事務 ■ 技術（電気・情報系、機械系、土木系、建築系、農業土木、林業）

防衛省ならではの技術の業務内容についてP24～27で特集しています。ぜひご覧ください！

※年度によって採用予定のない試験区分があります。試験の詳細は人事院HPをご確認ください。



本省内部部局

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真



本省所在機関

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛大学校

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛医科大学校

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

統合幕僚監部

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

情報本部

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

陸上自衛隊

キャッチコピー

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

海上自衛隊

キャッチコピー

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

航空自衛隊

キャッチコピー

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

地方防衛局

キャッチコピー

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛装備庁

キャッチコピー

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

技術区分の紹介

紹介文

写真



参考イメージ

防衛省技術職員は「技官」と呼ばれ、
防衛省ならではの規模が大きい業務に携わることができます。
ここでは、各機関の業務内容や魅力について紹介します。

技官は、本省、防衛装備庁の内部部局などでの防衛施設（司令部庁舎、滑走路、火薬庫など）や防衛装備品などの物的基盤に関する各種政策の企画・立案を担うほか、情報本部における先端技術情報の収集・分析・評価、全国各地の部隊や地方防衛局などで、

機関ごとの紹介

統幕

紹介文

写真

防衛省の技術職紹介(続き)

陸自

紹介文

写真

海自

紹介文

写真

防衛省の技術職紹介(続き)

空白

紹介文

写真

本情

紹介文

写真

防衛省の技術職紹介(続き)

地防

紹介文

写真

装備庁

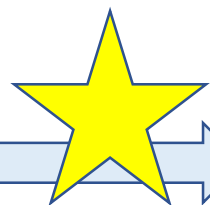
紹介文

写真

採用

係員

係長



キャリアパス

入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

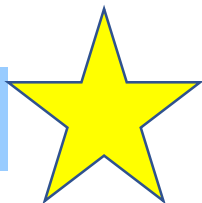
写真

入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

写真

課長補佐

管理職



入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

写真

入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

写真

Q1 防衛省ではどのような人材を求めていますか？

A 行政・事務区分については、幅広い視野を持ちつつ、様々な業務に関心を持ち、自分から積極的に学んでいける人材を、技術区分については、専門の業務に加え、新しいことにも積極的に挑戦できる人材を求めています。

Q2 行政区分で本省を希望する場合、どの地域区分を受験すれば良いですか？また、本省採用機関と本省以外の地域採用機関を併願することは可能ですか？

A 防衛省の本省採用機関である、本省内部部局・本省所在機関・防衛装備庁(※)については、どの地域で受験されても採用が可能です。また、本省採用機関と地域採用は併願することも可能です。受験する地域区分や年度によって、採用予定機関が異なるため、詳細は防衛省HPをご確認ください。
※防衛装備庁は、本省採用と地域採用の両方があります。

Q3 採用後はどのような人事管理になりますか？また、人事異動のサイクルはどのくらいですか？

A 採用後、中央と各地方ブロックを単位とした人事管理となり、概ね2～3年のサイクルで人事異動がありますが、転動する場合でも、ブロック内が基本となります。

ただし、希望・適性率によっては、地方ブロック採用であっても本省への異動も可能です。なお、専門職域で異動を行うことが必要とされる研究職などについては、上記より長いサイクルで人事異動することもあります。

Q4 採用後に勤務機関、勤務地及び携わりたい職務の変更を申し出ることはできますか？

A 毎年、本人に対して意向調査が行われますので、ここで自己の希望を人事担当者に伝えることができます。ただし、勤務機関及び勤務地については組織の要望や欠員状況によって、携わりたい職務については、本人の能力、適性を見極めて決定することとなるため、必ずしも全て希望どおりになるとは限りません。

Q5 一般職試験(大卒程度試験)の「教養区分」について教えてください。

A 2025年度から新設された「教養区分」では、法律学や化学などの専門試験は課さずに、一般的な教養や、速く正確に課題を解く能力に関する試験を実施します。専攻分野にかかわらず、大学3年生(試験年度の4月1日に20歳を迎えている方)から受験できますので、国家公務員採用試験に早期にチャレンジしたい方に加えて、民間企業等との併願など、進路を検討中の方についても、ぜひ新しい一般職「教養区分」に挑戦してください！

Q6 既卒だと採用に不利に影響することはありますか？

A 全くありません。防衛省では新卒・既卒関係なく防衛省で輝ける人材を求めています。実際に既卒で入省した職員も数多くいますのでご安心ください。他にも不安に感じることがあればぜひ説明会に参加して、職員にお尋ねください。お待ちしております！



採用予定人数

参考 採用予定者数(2025年度)

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

区分	行政	工学・技術	機械	土木	産業	物理	化学	農学	農林水産	林学	教養	備考
本省庁内各局	13	※	※	※	※	※	※	※	※	※	5	※(2025年度から追加予定)
本省庁内機関	40										12	
防衛大学校	2										1	
防衛医科大学校	2										1	
総合職等職型		1									1	
職上内務課	88	※	※	※	※	※					44	※(2025年度から追加予定)
職上内務課	36	※	※	※	※	※					16	※(2025年度から追加予定)
職上内務課	25	※	※								15	※(2025年度から追加予定)
情報本部	9	15									7	
地方防務課	53	※	※	※	※	※	※	※	※	※	37	※(2025年度から追加予定)
防衛科統計	35	※	※				※	※	※		18	※(2025年度から追加予定)
合計	303					212					157	

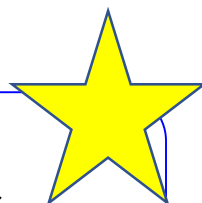
国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験)

国家公務員採用一般職試験(社会人試験(新卒型))

区分	高卒型	社会人(新卒型)	備考
防衛大学校	3		
総合職等職型		1	
職上内務課	114	104	
職上内務課	56	30	4
職上内務課	117	10	
情報本部	9	7	3
地方防務課	50	124(※)	※(2025年度から追加予定)
防衛科統計	7	23	
合計	356	306	

内覧書に掲載がある方はこちら！





防衛省専門職 採用案内

【中表紙】 専門職

掲載者：男性1名、女性1名

防衛省専門職職員の写真等

防衛省専門職職員とは

防衛省 専門職とは

語学で輝く

国際社会の平和と安定のため、わが国が果たす役割が大きくなる中、防衛省における専門職員の活躍の場は広がり続け、高い語学力とグローバルな視野を生かし、国防の一翼を担っています。本省内部部局、陸・海・空自衛隊、情報本部、地方防衛局、防衛装備庁などにおいて、国際的な防衛行政に関する政策立案、諸外国との防衛協力・交流等の国際的な防衛行政に関する企画立案、情報収集・分析、語学教育など様々な分野で活躍することができます。安全保障の世界であなたは何に挑戦したいですか？

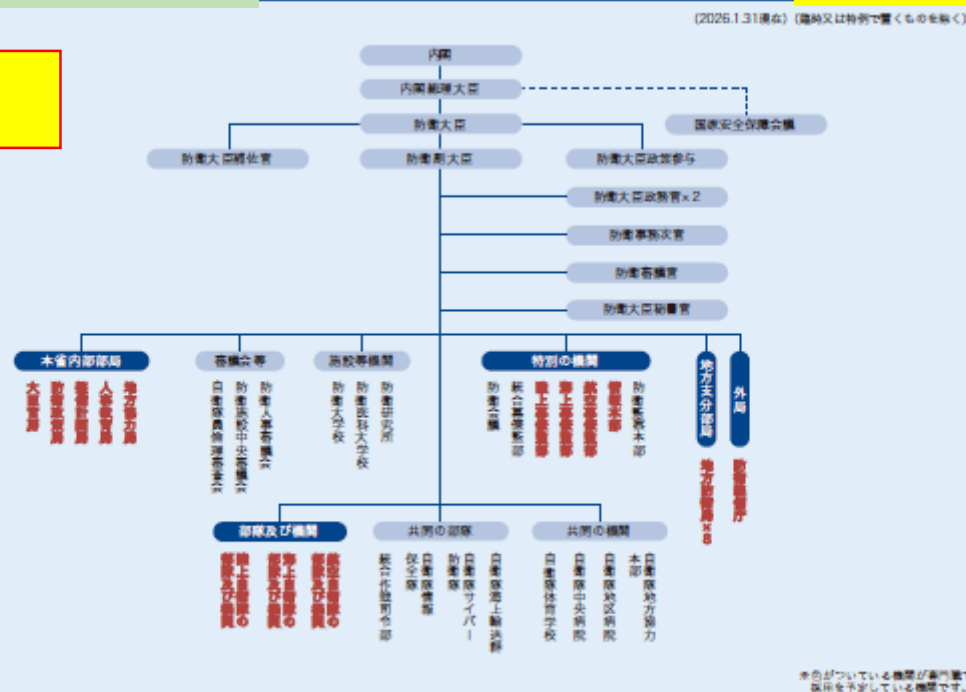
防衛省専門職員採用試験は、一般職試験と併催可能です。防衛省一般職についての紹介はP4をご覧ください。

防衛省専門職

組織図

参考イメージ

組織図



採用言語と業務内容について

採用言語と業務内容

機関での採用を予定しています。
それぞれ異なりますので、ご確認ください。
異なりますので、必ず防衛省HPでご確認ください。

機 関	採用言語	業務内容	主な勤務地	採用予定数 (2025年度)
本省内部部局 及び防衛装備庁	英語	【本省内部部局】 ● 国際的な防衛行政に関する企画立案 ・ 日米防衛協力 ・ 諸外国との防衛協力・交流 ・ 国際平和協力活動 ● 防衛装備庁行政及び防衛装備品の開発事業に関する政策の企画・立案 ・ 在日米軍(司令部)及び関連地方自治体との折衝 等 ● 高官通訳(大臣等) 【防衛装備庁】 ● 輸入調達業務 ● 防衛装備庁行政及び防衛装備品の開発事業に関する政策の企画立案 ・ 防衛装備・技術協力 ・ 防衛装備品の国際共同開発事業 等	市ヶ谷	23名
陸・海・空自衛隊	英語、ロシア語、 中国語、朝鮮語、 フランス語	・ 自衛官等に対する語学教育 ・ 報道や書籍などの海外資料の収集・分析・聴取・ 情勢ブリーフィング ・ 高官通訳(自衛官幹部 等)	市ヶ谷または 駐屯地・基地	25名
情報本部	英語、ロシア語、中国語、 朝鮮語、フランス語、 アラビア語、ベルシャ語、 インドネシア語	・ 国際関係、地域情勢(政治・経済・外交・文化・ 民族問題・最新技術等)、軍事情勢に関する 情報収集・分析 等	市ヶ谷	22名
地方防衛局	英語	・ 在日米軍(現地部隊)及び関連地方自治体との折衝	各地方防衛局	12名

2026年度採用試験スケジュール



採用区分 ■ 英語 ■ ロシア語 ■ 中国語 ■ 朝鮮語 ■ フランス語 ■ アラビア語 ■ ペルシャ語 ■ インドネシア語 (試験区分は別表参照)

試験方法

	試験項目	内 容
第1次試験	基礎能力試験	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 【多岐選択式】知能分野24題(文章理解10問、判断推理7問、数的推理4問、資料解釈3問) 知識分野6題(自然・人文・社会に関する時事、情報6題)
	専門試験	各試験区分に応じた必要な専門的知識などについての筆記試験 記述式 英語：英文解釈、読書問題、英文法、英作文 ロシア語：露文和訳、和文露訳、露語文法 中国語：中文和訳、和文中文、中国語文法 朝鮮語：朝文和訳、和文朝訳、朝鮮語文法 フランス語：仏文和訳、和文仏訳、仏語文法 アラビア語：アラビア語文和訳、和文アラビア語訳、アラビア語文法 ペルシャ語：ペルシャ語文和訳、和文ペルシャ語訳、ペルシャ語文法 インドネシア語：インドネシア語文和訳、和文インドネシア語訳、インドネシア語文法
	論文試験	課題に対する総合的な判断力、思考力及び表現力についての筆記試験
第2次試験	口述試験	人柄、对人的能力などについての個別面接
	身体検査	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む)、尿、その他一般内科系検査

受験資格

- (1) 試験年度の4月1日における年齢が21歳以上30歳未満の者
(2) 試験年度の4月1日における年齢が21歳未満の者で次に掲げる者
ア) 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに防衛省がこれらの者と同等の資格があると認める者
イ) 短大または高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短大又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに防衛省がこれらの者と同等の資格があると認める者
※防衛省専門職採用試験の詳細な情報については、必ず防衛省HP(採用情報)で最新の情報をご確認ください。

Q&A

採用に関する



Q 来年度試験の詳細は、いつ分かりますか？

A 例年3月頃に、受験案内を防衛省HPで公表しますので、そちらをご確認ください。

Q 過去の試験問題は、入手できますか？

A 情報公開制度に基づいて請求することで、入手できます。

「防衛省 専門職採用試験 過去問」と検索いただくことで請求書の様式や記載例が確認できます。
詳細は、防衛省HPをご確認ください。

※お手元に届くまでに、2か月程度かかりますので、ご注意ください。
※論文試験問題は、防衛省HPで公表しています。

Q 専門職に関する説明会は、開催していますか？

A 防衛省や大学などで随時開催しています。
P54「説明会に参加しよう」で詳しく紹介しているのでぜひご覧ください。開催については防衛省採用SNSにて告知しています。
また、メーリングリスト登録者宛てに説明会等の情報を発信しています。メーリングリストへの登録は、「防衛省専門職メーリングリストへの登録」と検索いただき、登録フォームから送信をしてください。

Q 異動はありますか？

A 定期的に部署異動はありますが、機関や部署によってサイクルが異なります。採用された機関内での勤務・異動が基本となりますが、他機関への異動の機会もあります。
なお、勤務地について、本省内部部局、情報本部及び防衛装備庁は市ヶ谷地区、陸海空自衛隊は市ヶ谷地区や各駐屯地・基地、地方防衛局は採用された局での勤務が基本となります。

Q 海外に行く機会はありますか？

A 海外出張、海外勤務、海外留学などで、海外に行く機会があります。
本省内部部局、情報本部及び防衛装備庁は、ミサイル防衛業務や有償援助調達業務での米国勤務、外務省に outward 在外公館での海外勤務などの機会があります。

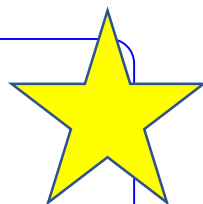
Q 入省後、どのような研修がありますか？

A 一般的な行政研修のほか、各機関において必要なスキル習得のため、様々な研修があります。

本省内部部局：通訳研修、海外大学院留学、海外研修(海外シンクタンク等での研修)など
陸海空自衛隊：通訳・翻訳教育、各自衛隊での語学研修など
情報本部：通訳研修、国内外大学院留学、米国防務省研修など
地方防衛局：通訳研修、英会話研修など
防衛装備庁：通訳研修、レベル別実用英語研修、英語ネゴシエーションスキル研修など
※研修によっては、選抜制となります。

本省内部部局

キャッチコピー



機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(300字程度)

写真

陸上自衛隊

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(300字程度)

写真

海上自衛隊

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(400字程度)

写真

航空自衛隊

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(400字程度)

写真

地方防衛局

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(300字程度)

写真

情報本部

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(300字程度)

写真

防衛装備庁

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(300字程度)

写真

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

採用

係員

係長

課長補佐

管理職

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

WLB制度の説明

ワークライフバランス

あなたと大切な人を
幸せにできる働き方があります

男性も女性もともに働きやすい職場となるように、働き方の見直しや、在宅勤務などの育児や介護等勤務環境の整備に取り組み、職員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進しています。

職場における仕事改革

働き方改革の推進

不要な業務の廃止、定型業務や慣習的な業務の効率化、オフィス環境の整備等を通じて、働き方改革を推進しています。



超過勤務削減

業務の効率化や上司による業務分担の見直し、業務の優先付け等、超過勤務の削減に向けて取り組んでいます。

年次休暇の取得推進

年間15日以上年次休暇取得を目標としています。また、年末年始休暇や夏季休暇にプラスしたり、家族の行事や記念日に合わせた休暇の取得を推進しています。

事務官等の年次休暇

参考イメージ

働く時間と場所の柔軟化

テレワークの推進

テレワークの実施が不可能な業務を除き、全ての機関においてテレワークが実施可能となっております。



フレックスタイム制

フレックスタイム制（1週間あたり平均の勤務時間が38時間45分（4週間の場合155時間）となるように割り振る制度）を利用し、1日の勤務時間数や勤務時間等を設定できます。また、土日以外にも勤務しない日を週1日を限度に設定できます。

早出遅出勤務

子育てや介護を行う職員だけでなく、業務に関連性のある資格講座等による修学等のために、始業・終業の時刻を繰り上げて（もしくは繰り下げて）勤務することができます。



ライフステージ等に応じた各種制度

出産・育児

不妊治療のための特別休暇

不妊治療を受ける医師等による不妊治療（体外受精等）が業務時間内に実施される場合は、10日間

産前、産後休暇（女性のみ）

出産予定日の6日前から、出産後9日間を超過するまでの期間

配偶者の出産特別休暇（男性のみ）

妻の出産から出産後2週間までの間に2日間

育児参加のための特別休暇（男性のみ）

妻の出産から出産後1年以内の5日間

育児休業

子が3歳に達する日まで休業可能

保育時間確保のための特別休暇

生後1歳未満の子を育児や託児所への送迎等のため、1日2回それぞれ30分以内

子の看護等のための特別休暇

小学校3年生までの子の看護や入院、手術又は入学等のため、1日2回それぞれ30分以内（2人以上の場合は、10日間）

介護

短期介護休暇

介護を受ける必要のある家族等のため、年5日（2人以上の場合は10日間）

介護休暇

介護を受ける必要のある家族等のため、年5日（2人以上の場合は10日間）

介護時間

介護のため、3年の期間内、1日2時間以内



男性職員の
育児休業等の取得率
（2024年度）



WLB室の取組紹介について

防衛省・自衛隊では、育児や介護を担うなど時間制約のある職員を食む全ての職員が十分に能力を発揮できるよう、色々な取り組みを行っているよ！

取り組みの一例

広く制度を知ってもらうために「両立支援ハンドブック」を、女性職員のキャリアイメージや男性職員の育児取得イメージ形成のために「ワークスタイル事例集」を作成・配布しているよ！HPからアクセスできるから、ぜひ見てみてね♡

コラボレーションは、防衛省職員のワークライフバランス推進のための専任キャラクターです。



詳しくはこちらへ

また、職員みんなに対してワークライフバランスに関わるお知らせや情報をメールマガジンで定期配信をし、みんなの意識啓発も行っているよ！

特に令和3年度～令和7年度にかけては

テレワークの推進、ペーパーレス化の推進

勤務時間管理の徹底

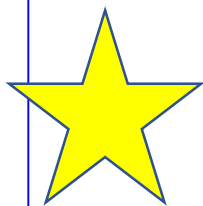
男性育児の取得促進

あらゆる職員が働きやすい職場環境の確立

重要事項に異なり、いろいろなことに制約が加わり、みんなが働きやすい職場環境づくりをどんどん進めているよ！！

共通（一般職・専門職）

職員からのメッセージ紹介



職員メッセージ
写真

一般職

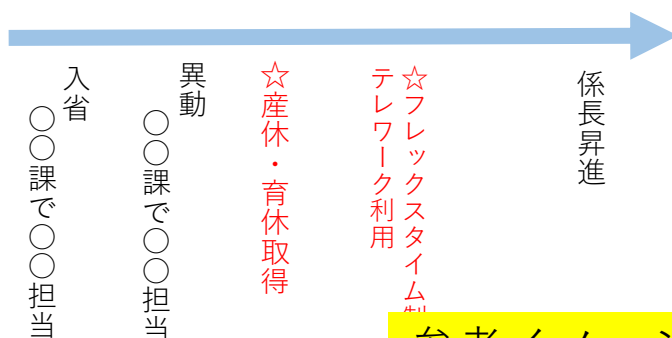
職員メッセージ
写真

専門職

制度利用者のキャリアパス紹介

職員メッセージ
写真

一般職または専門職



参考イメージ

転勤について(ブロック型人事管理)

ブロック型人事管理

転勤について

防衛省では、
8つのブロックにおいて、
様々な機関が採用を行っています。

【参考】2025年度ブロック別採用機関（大卒・高卒程度）

防衛省では、これまで全国転勤を前提とした人事管理を行っていましたが、2022年度から、中央と各地方（北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国・四国、九州、沖縄）を単位としたブロック型人事管理を行っています。これにより職員やその家族の負担となっている転勤や単身赴任が削減されています。

※採用後、概ね2〜3年のサイクルで人事異動がありますが、転勤する場合でも、ブロック内が基本となります。
※希望・適性等によっては、地方ブロック採用であっても本省への異動も可能です。



参考イメージ

防衛省「事務官・技官等」人材戦略 紹介



ほかにも…

防衛省では、仕事の「やりがい」の向上、職場の「働きやすさ」を確保するための取組を進めています！

勤務条件

参考イメージ

勤務条件

防衛省は、国家の安全保障を担う重要な役割を担っています。
その使命を果たすために、安心して働ける環境を整えています。

初任給が
大幅にUP!

給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。
表は、新機卒者が東京部特別区に勤務した場合の一例です。
※一般職（社会人（係員級））の採用時の給与は、採用時の経験により異なりますが、表では例として、高校卒業後、30歳で採用された場合の支給額です。

一般職（大卒程度）	防衛省専門職	一般職（社会人（係員級））	一般職（高卒者）
行政職俸給表（一）1級25号俸の場合 研究職俸給表1級25号俸の場合	行政職俸給表（一）1級25号俸の場合	行政職俸給表（一）1級	行政職俸給表（一）1級5号俸の場合 研究職俸給表1級5号俸の場合
278,400円 286,320円	278,400円	263,280～ 307,440円	240,360円 240,840円

手当

- 扶養手当：扶養親族（配偶者等）のある者に、月額3,000円等
- 住居手当：借家居住者等に、月額最高28,000円
- 通勤手当：交通機関等利用者に、1ヶ月最高150,000円
- その他：超過勤務手当等
- 期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）：1年間に俸給などの4.65ヶ月分

※上記の額は、2025年（令和8年）1月現在の各規定に基づくものです。

勤務時間

勤務時間は1日7時間45分、原則として土・日曜日及び祝日は休み、2日制を実施しています。

休暇

年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日、残日数は20日を限度として翌年に繰り越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・子の看護等・ボランティア等）、介護休暇等があります。

研修制度

研修制度

防衛省では、入省後に自らのスキルアップを図ることができる、様々な種類の研修制度を整えています。



階層別研修

内閣府等を含め、各機関等で実施する研修を通じ、職務を通じた知識及び技術の習得のみならず、職場を離れて各職位に必要な知識及び技術を修得するとともに、別機関等との絆を深めることができます。

専門研修

各機関等で勤務するにあたって必要となる専門的な知識やスキルを身につけることができます。

人事院研修

国民全体の奉仕者としての使命感の向上、資質・能力の向上、研修機関の相互理解・関係関係の醸成を目的とした人事院の研修に参加し、政府全体の視点から見た行政について学ぶことができます。



福利厚生

福利厚生

防衛省では、職員一人ひとりが安心して働き続けられるよう、充実した福利厚生制度を整えています。

しっかりフォローしてくれるから
全力で働ける!

共済組合

防衛省共済組合は、職員と家族が健康でより快適に生活できるよう、健康保険や年金などの事業のほか、貯金、貸付、各種健診、宿泊関連の助成や、レジャー施設、各種スクールの割引利用などのサービスの提供に係る運営を行っています。



優れた健康管理体制

防衛省には独自の病院が全国各地にあるほか、職場には医療施設が設けられており、職員は職場内で病気等の治療を受けることができます。



食堂・売店等施設

職場には、メニューが充実している食堂・フードコートや、様々な商品を取り扱う売店等があり、働く上で便利な環境となっています。



福利厚生施設

防衛省共済組合直営の宿泊・婚礼・宴会施設や外部委託契約による民間保養施設等が割引金額にて利用できます。





裏表紙



防衛省
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛省代表03-3268-3111
URL : <https://www.mod.go.jp/j/saiyou/>



単位：部

	大学等	高校	合計
北海道地区	28	239	267
東北地区	50	405	455
青森県	6	57	63
岩手県	8	68	76
宮城県	20	87	107
秋田県	6	47	53
山形県	5	52	57
福島県	5	94	99
関東甲信越地区	204	1,477	1,681
茨城県	9	120	129
栃木県	7	71	78
群馬県	8	70	78
埼玉県	16	190	206
千葉県	15	180	195
東京都	108	398	506
神奈川県	21	221	242
新潟県	9	100	109
山梨県	4	38	42
長野県	7	89	96
東海北陸地区	82	620	702
静岡県	9	126	135
富山県	8	46	54
石川県	11	57	68
福井県	4	30	34
岐阜県	4	76	80
愛知県	39	217	256
三重県	7	68	75
近畿地区	98	685	783
滋賀県	3	54	57
京都府	23	95	118
大阪府	46	247	293
兵庫県	16	197	213
奈良県	7	46	53
和歌山県	3	46	49
中国四国地区	73	532	605
鳥取県	2	29	31
島根県	1	40	41
岡山県	9	85	94
広島県	22	127	149
山口県	9	71	80
徳島県	4	38	42
香川県	11	41	52
愛媛県	9	61	70
高知県	6	40	46
九州地区	73	522	595
福岡県	32	157	189
佐賀県	2	40	42
長崎県	5	77	82
熊本県	15	71	86
大分県	6	50	56
宮崎県	5	45	50
鹿児島県	8	82	90
沖縄地区	14	62	76
計	622	4,542	5,164

送 付 先 一 覧

宛 先	郵便番号	住 所	電話番号	パンフレット発送数 (単位:箱)
北海道防衛局総務部総務課人事係	060-0042	北海道札幌市中央区大通西12 札幌第3合同庁舎	011-272-7578	20
東北防衛局総務部総務課人事係	983-0842	宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台第3合同庁舎	022-297-8209	32
東海防衛支局総務課人事係	460-0001	愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館	052-952-8221	20
近畿中部防衛局総務部総務課人事係	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館	06-6945-4951	30
中国四国防衛局総務部総務課人事係	730-0012	広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第4号館	082-223-8284	24
九州防衛局総務部総務課人事係	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎	092-483-8811	20
沖縄防衛局総務部総務課人事係	904-0295	沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9	098-921-8131	16
				162

※1箱 10kg以上、20kg未満